



消防団たずね歩き

第23回兵庫県消防操法大会を振り返って

8月8日、第23回兵庫県消防操法大会に神戸市代表として出場しましたので、そこにいるまでの経過についてご紹介したいと思います。

昨年10月10日に訓練開始式をおこない、その後3カ月にわたる体力錬成と規律訓練、基本動作訓練の結果、指揮者以下メンバーの絞り込みをおこないました。

2月の夜はとて寒く、手もかじかんでホース延長や吸管結合の作業はなかなかうまくできませんでした。しかし、この時期はあせらず基本動作を確実に習得し、けがをしないということを最大の目標としました。

4月に入り寒さから解放された頃より、放水訓練を開始し、5月に入ってから夜間だけでなく昼間の訓練も開始しました。しかし、ちょうど農繁期と重なり後方支援の人員が減り、選手との間にギャップが生じ、一時は熱くなりすぎて議論を繰り返した時期もありましたが、6月27日の発隊式で、関係各位から激励をいただいたことと選手のがんばりを目の当たりにしたことで一気に支援団員の意気も上がってきました。

7月に入り大会まで残り1カ月を切るとあせりもあってか訓練の量が増加し、梅雨明けの一番暑い日中に3日連続で訓練をした時はさすがに選手たちの体調が心配になりました

が、Aチームは若さで、Bチームは完璧な自己管理で厳しい訓練を乗り切りました。

10カ月を超える訓練期間を通して北神分署の指導員の皆様による確^{しつた}で熱心な指導と、チームリーダーの叱咤^{しつた}激励、支援団員の献身的なバックアップにより、一致団結して大会当日をむかえ訓練の成果を遺憾なく発揮することができました。

最後になりましたが、多大なるご支援をいただきました神戸市消防局、神戸市消防協会、神戸市北防火安全協会、応援にかけつけていただきました自治会の方々など関係者の皆様に深く感謝し、お礼申し上げます。
(北消防団八多支団 本団分団長 鷲尾慎一)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

